

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	福祉と社会		
担当者(Instructors)	岩本 義浩	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

日本社会において、福祉的支援を必要とされる人々がいる。社会生活を行うためには複数の立場を想定し物事を俯瞰し理解することの切っ掛けづくりとして本講義を学習し、課題と解決策について理解し身につける。上記を理解するために日本の福祉制度の現状と変遷を理解しそこから生じる問題点を各テーマを基に学生自ら理解と解決策を考えられる力を身につけて頂きたいと考えています。その為には、福祉関連制度や各支援の基本的対応を理解する必要があります。本授業は、社会生活を行うにあたり様々な事例を通じ物事の本質と課題解決、そして日本に住む者すべての人々が必要な支援を受けられる為の方法を共に理解していく。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	学生の視点や気づきに触れられる機会を多く持つ様にする。 その都度テーマについて説明や映像を見つ必要な法律や制度を理解してもらう。また、学生同士の意見や情報交換時には発表して学生みんなで理解して頂きたいと思う。 また、福祉関連の仕事についても適宜紹介する。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	福祉からみる社会の在り方とは	本講義のねらい、到達目標の理解、社会問題を捉える視点の説明	<input type="checkbox"/>
第2回	親の子育て問題	核家族・ひとり親による育児放棄、低所得化による生活課題について理解する	<input type="checkbox"/>
第3回	出生前診断の支援	出生前診断を受けることや受けた後も課題について理解する	<input type="checkbox"/>
第4回	障がい児を持つ親への支援	親亡き後の不安材料をどの様に緩和していくことが出来るかその方法を理解する	<input type="checkbox"/>
第5回	障がい者の自立生活Ⅰ	知的障がいを持つ方の就労支援を通じて社会参加することを理解する	<input type="checkbox"/>
第6回	障がい者の自立生活Ⅱ	身体障がいを持つ方が成人を迎えどの様に生活を展開するか理解する	<input type="checkbox"/>
第7回	障がい者のマイノリティ	障がい者のLGBTQ課題を理解する	<input type="checkbox"/>
第8回	親から見たヤングケアラー	障がいをもつ家族を子供らにより介護をせざるを得ない現状を親目線で理解する	<input type="checkbox"/>
第9回	ヘルパーを通じて在宅生活	障がい者が一人生活を実現するために介護を受けて生活する事を理解する	<input type="checkbox"/>
第10回	後期高齢者の生活	後期高齢者の方の生活の現状と課題を理解する	<input type="checkbox"/>
第11回	災害時要配慮者への支援	様々な災害課題と要配慮者への支援について理解する	<input type="checkbox"/>
第12回	地域福祉の課題と展望	障がい者・高齢者・薬物依存者などの現在の貧困問題について理解する	<input type="checkbox"/>
第13回	権利擁護社会の課題Ⅰ	旧優生保護法を通して権利擁護社会の課題について理解する	<input type="checkbox"/>
第14回	権利擁護社会の課題Ⅱ	ハンセン病を通して権利擁護社会の課題について理解する	<input type="checkbox"/>
第15回	未来都市構想の福祉	スーパーシティの在り方とそこで展開される福祉について理解する	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)

授業前に各テーマに関して事前に調べておくこと(2時間)。特に日常生活で福祉的出来事のニュースなどについて授業内容に関連したことを意識し振り返る(2時間)。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

授業時間内にミニレポートを課題として課す。課題に記載された質問は、まとめて次回授業時に匿名にて全体に提示し、共有する機会を持つ。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019全学共通DP1	物事の本質と課題解決、そして日本に住む者すべての人々が必要な支援を受けられる為の方法を共に理解していく。その効果測定としてレポートを作成して頂く。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
		80%		20%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

テーマの中より、自分で最も関心の持ったことについて、その歴史の変遷或いは課題を説明し、自らその解決策や改善策について述べる。

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	福祉小六法編集委員会編(2024)「福祉小六法 2024年度版」みらい社	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	授業内で適宜紹介します	
2		
3		
4		
5		